

令和 7 年国勢調査に関する不詳補完値について

1. 経緯

国勢調査の集計に当たり、結果利用者の利便性向上を図るため、令和 2 年国勢調査の集計においては、主な項目^{※1}の集計結果（原数値）に含まれる「不詳」をあん分等によって補完した「不詳補完値」を算出し、これを表章した統計表を参考表として公表した。その際、平成 27 年国勢調査についても、同様の方法で遡及集計した結果（平成 27 年国勢調査に係るあん分等による不詳補完値）を併せて提供し、令和 2 年国勢調査との時系列比較等に利用した。

令和 7 年国勢調査については、更なる利便性の向上を図るため、以下のとおり不詳補完値を公表した。

※ 1）具体的には次のとおり。

人口等基本集計：年齢、国籍（日本人・外国人の別）、配偶関係

就業状態等基本集計：労働力状態、産業、職業、従業上の地位

従業地・通学地による人口・就業状態等集計：労働力状態、従業地・通学地

移動人口の男女・年齢等集計：年齢 5 歳階級、5 年前の常住地

2. 令和 7 年国勢調査の不詳補完値

令和 7 年国勢調査の確報集計においては、原数値に加え、参考表として、主要国で使用されている CANCEIS^{※2}による不詳補完値を全集計区分^{※3}で公表するとともに、令和 2 年国勢調査結果のうち、主要な集計区分^{※4}についても、CANCEIS による不詳補完値を算出し、遡及集計結果として公表した。なお、CANCEIS による不詳補完値については、不詳が一部残る場合がある。

※ 2）CANCEIS（CANadian Census Edit and Imputation System）は、カナダ統計局が開発したソフトウェアであり、カナダ、イギリス、ドイツ等の人口センサスで使用されている。

※ 3）人口等基本集計、就業状態等基本集計、抽出詳細集計、従業地・通学地集計、移動人口の男女・年齢等集計、移動人口の就業状態等集計及び小地域集計

※ 4）人口等基本集計、就業状態等基本集計、従業地・通学地集計及び移動人口の男女・年齢等集計

3. 不詳補完値を用いた増減数及び増減率

統計局の公表資料に掲載している増減数及び増減率は、同一の補完方法による不詳補完値又は原数値同士の比較により算出している。なお、平成 27 年、令和 2 年及び令和 7 年の国勢調査において算出した不詳補完値は、下表のとおりである。

	令和 7 年国勢調査	令和 2 年国勢調査	平成 27 年国勢調査
CANCEIS による不詳補完値	○	○	—
あん分等による不詳補完値	—	○	○